

## 第3回高知県談合防止対策検討委員会 会議要旨

令和5年5月29日(月) 13:30~15:00

高知共済会館 3階 桜の間

### 1 出席者

#### (1) 委員

- ・ 稲田委員、奥村委員、近藤委員、田中委員、中村委員、那須委員、山本委員、渡邊委員

#### (2) 事務局

- ・ 荻野部長、横島副部長、岩崎副部長、島田土木技術監、梅森参事兼土木政策課長 ほか

### 2 議題

- (1) 入札制度改正等(検討案)の概要
- (2) 委託業務における総合評価方式の導入
- (3) 予定価格事後公表の拡大
- (4) コンプライアンス基本方針の策定
- (5) 違約金、賠償金の改正
- (6) 指名停止期間について

### 3 主な意見

- ① 総合評価方式について、中小企業者が不利にならない色々な組合せを検討し、幅広く導入すべき。
- ② 総合評価方式を導入するにあたっては、発注者側がしっかり成果品を評価する仕組みとすべき。また、応札者からの技術提案についても評価することを検討すべき。
- ③ 総合評価方式においては、価格だけではなく、応札者が自らをアピールできる仕組みを検討すべき。さらに、業務を行った過程などを適正に評価する仕組みがあるべき。
- ④ 中小企業や新規事業者、事業承継業者など、意欲のある事業者が参入しやすい視点を入れた入札制度を考えていただきたい。
- ⑤ コンプライアンス基本方針については、単に策定して終わりではなく、実効性のあるものにしなければならない。
- ⑥ 建設業界は、他の業界と比べるとコンプライアンスの意識がまだまだ低いように感じるため、コンプライアンスの徹底が必要。  
再発防止のための抑止力の一つとして、ペナルティ強化も意味があると思う。